



富山県SDGs宣言実施状況報告書



令和6年2月28日

企業・団体名 CAD Office Yamamoto 2級建築士事務所

代表者名 山本 典弘

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和6年4月1日（宣言日）～令和6年7月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】住み続けられるまちづくり、高齢になっても自分が過ごしてきた街に自分の住まいに住み続けられる、また、震災などが起きた時、障害を持つものも、避難できるか考えなければならない。これが最初に掲げた者の要約です。</p> <p>【実施状況】まず、自分の身を家の倒壊などから守らねばなりません。高齢になったとき、避難場所で、松葉杖等を使う自分としては動きにくい事が考えられます。口ではいろいろと言えますが、まずは、高齢者はトイレの心配が一番だと思いました。それで、紙オムツなどを準備してみました。また、転倒して骨折などを起こさないように、避難時に車椅子の利用を考え、常に車椅子を出すことを考えました。紙オムツ、車椅子を常に取り出せる場所に設置する。これは食料を3日分用意すると同じに必用と思っています。</p>
2	<p>【目標】性差別、障害による差別、偏見を無くさねばなりません。小さい子を持つお母さんや、お父さんの働きやすい職場作りは必須です。これが2番目に掲げた者の要約です</p> <p>【実施状況】現在では、性差別をする人は少なくなりました、といってもされる方はいます。されど、職場で、大工は男、〇〇は女という差別はなくなってきています。それよりも、小さい子を持つ、介護する家人を持つ人が増えてきています。テレワークの導入、その人にしか出来ないことであっても、一時的に応援する人材の育成は必用と思っています。私の事務所では、今年は仕事がなくそのような事は出来ませんでした。これからの時代必須の問題だと、思っ対策を考えています。</p>
3	<p>【目標】建築、いろいろな物は作った時が、始まりです。また、品物は作られるまで、二酸化炭素を発生させます。作られたものをいかに二酸化炭素の発生を抑えて、生かし続けるか、これが3番目の問題提起です。</p> <p>【実施状況】クリーンエネルギーとしての太陽光発電を増やす。これは必須です。また、原子力発電での発電も、現代の電気消費率から言って必須となってきています。それらをどう安全に使うかがこれからの時代抑えていかねばならない問題です。また、荷物の搬送にも、宅配にも再配達が必要とならないようにしなければなりません。簡易宅配ボックスの設置、自動車のEV化、ハイブリッド化は現在必須のものです。我が社もハイブリッド化に取り組みました。</p>

※宣言日(ウェブサイト掲載日)から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。